

リニア工事反対決議求めた陳情 大鹿村会本会議も不採択

下伊那郡大鹿村議会は20日の定例会本会議で、JR東海のリニア中央新幹線建設工事に反対する決議を求めた陳情を賛成3人、反対4人の賛成少数で不採択とした。リニア工事に反対する村民有志6人が提出していた。陳情者側は採決前、村内外でこの日まで募った陳情への賛同者2054人（陳情者発表）の署名を村議会議務局へ出した。討論では、賛否双方の立場

から各1人発言があった。採択賛成の立場の議員は、村内ではこれまでリニア工事自体の可否について議論する場がなかったことなどを指摘し、「（工事を）一歩立ち止まってみてみるべきだ」と主張。反対の立場の議員は、同郡松川町へとつながる県道松川インター大鹿線を「大鹿の生命線」とし、この県道がリニア工事によって改良されることを重要視すべきだとした。陳情は、工事着手への「住民理解」の判断は事業者であるJRがする一としている同社の姿勢や、生活や自然環境

を壊すとして工事計画を批判、工事に反対する決議を求めていた。12日の村議会特別委員会審議では、委員6人の採決で賛否同数となり、委員長裁決で不採択だった。

陳情代表者で、村リニア対策委員の前島久美氏(34)によると、署名は県内外のリニア域住民が（狭いコミュニティの中で）リニアについて議論しづらい状況にある。何とか変えていきたい」と話した。

